

同志社大学・菅野ゼミ

ジェンダー・セクシュアリティ・表象

神戸大学・青山ゼミ
板倉ゼミ

神戸大学国際文化学研究所 E410室

2019年9月10日(火)

10:00-10:05

ご挨拶

青山 薫 教授 (神戸大学)

10:05-11:35

パネル#1

松元 実環 (神戸大学)

「戦後日本の「性教育」映画」

宍戸 明彦 (同志社大学)

「ハリウッド映画音楽作曲家におけるジェンダー差別と改革」

板倉 史明 准教授 (神戸大学)

「Historical Perspective on "Americanized" Image of a Japanese Actress in Postwar Japan: Kinuyo Tanaka's Journey to the U.S., 1949-1950」

11:50-12:40

パネル#2

Ashley Yuna (同志社大学)

「Stereotypes of Asian Women in Recent Years Cinema」

Arnaud Stockinger (神戸大学)

「“ゲイ・シネマ”を求めて—ジャンルとしての“ゲイ・映画”」

合同研究発表会

Gender • Sexuality • Representation

13:40-14:55

パネル#3

Aldrie Alman Drajat (神戸大学)

「Actress as global pastiche: problematizing actor in copycat television drama」

柳下 裕美 (Victoria University of Wellington)

「Nothing About Us Without Us」

張 佳傑 (同志社大学)

「Do Gender and Sexuality Still Matter for Artists? — The Practice of Queer Feminist Art on Authorship」

15:10-16:25

パネル#4

趙 男 (同志社大学)

「デジタル時代において、紙媒体としてのジンの存続可能性についての議論」

張 嘉慧 (神戸大学)

「『歌劇』にみる女性のホモソーシャルティ」

Phillip Hughes (神戸大学)

「Intersections of Queerness and Migration Through the Lens of Drag」

16:40-17:40

コメント

青山 薫 教授 (神戸大学) & 菅野優香 准教授 (同志社大学)

主催：文部科学省科学研究費基盤研究(A) 宮地尚子代表

「トラウマとジェンダーの相互作用：精神病理・逸脱・創造性」分担研究者 青山薫

共催：神戸大学国際文化学研究所 国際文化学研究推進センター